



能楽師 大島 輝久さん

喜多流でシテ方を務めてきた大島家の5代目に生まれ、3歳で初舞台。現在、塩津哲生氏に師事する。29歳。「無駄を省いた動きで登場人物の内面に迫り、見る人の想像力に訴えるのが能。いずれは、動かなくても何かを表現できるようにになりたい」。この伝統芸能を次の世代へ引き継ぐ使命を負っていることも意識する。26日、品川区で開かれる喜多流青年能「小唄」で在原業平の靈に挑む。日本文化をもっと知りたいと茶道も勉強中。

撮影・宮島夕子

① イチオシ

05/03/07
朝日新聞
(東京版夕刊)

back